

## 空間に華やかさがプラス！ ～ 勝興寺「奥のしつらい」をテーマとした展示について ～

勝興寺は、400年以上の歴史の中で本山に準じる連枝寺院として戦国大名や加賀前田家、また公家からの女性たちが嫁ぎ、「奥」として内外から勝興寺を支えてきました。

今回の展示では、国宝答申の機会を捉え、連枝寺院に着目し、加賀前田家の庇護のもと、本願寺や公家との関係を深め、勝興寺へ嫁いだ女性たちに由来する婚礼調度品を展示するとともに、彼女たちによって勝興寺と結ばれた婚姻関係にも焦点を当てます。

- 1 期 間 令和4年11月3日（水・祝）～11月27日（日）
- 2 会 場 勝興寺
- 3 展示内容

### ◆勝興寺に嫁いだ広悟【式台】

式台では、勝興寺20代住職本成<sup>ほんじょう</sup>とその室広悟<sup>こうご</sup>の肖像画と、歌絵を展示します。広悟は、鷹司政熙<sup>たかつかまさきひろ</sup>の息女で、寺伝では入興の際に、洛中洛外図屏風<sup>らくちゅうらくがいずびょうぶ</sup>（重要文化財）などの調度品をもたらしたとされています。

### ◆勝興寺と婚姻【書院①】

勝興寺は、大名や公家から妻を迎えることでも勢力を誇りました。広悟が興入れした時の古文書や、興入れのあとどのような関係が生まれたか、その閨閥<sup>けいぼつ</sup>について紹介します。

### ◆洛中洛外図屏風【書院②】

広悟は興入れの際に、勝興寺に多くの品々をもたらし、「洛中洛外図屏風 勝興寺本」はそのひとつと考えられています。ここでは、「洛中洛外図屏風 勝興寺本（レプリカ）」を展示します。

### ◆奥のたしなみ【書院③】

婚礼調度品には、女性の幸せへの願いがこめられた品々や、教養のための本、優雅な遊びのためのものがあります。ここでは、女性の教養や娯楽に関する品々を展示します。

### ◆奥のよそおい【金之間】

「金之間」と呼ばれる奥書院は、壁や建具に金箔が貼ってあり、絢爛豪華なしつらいが施されています。ここでは、女性が身だしなみを整えるために用いる品々を展示します。

※本展示は、通常の文化財協力金にてご覧いただくことができます。

※連枝寺院・・・門主親族が住職を務める寺院のこと。